

学習指導案 小学校第3学年「図画工作科」

1 題材名 「ジャブジャブ新聞紙」 (2009年6月23日実施、35名)



授業実践者：西村 真二

2 題材設定の理由

(1) 題材について

小学校学習指導要領解説図画工作編(平成20年8月)には、「感性」を「様々な対象や事象を心を感じ取る働きであるとともに、知性と一体化して創造性を育む重要なもの」と規定している。また、「感性を働かせる」とは、「造形活動の中で、児童が自らの感じ方や表現の思いなど、自分の感性を十分に働かせている状態」としている。「造形遊び」は、「表現や鑑賞の基礎となる活動であり、遊びの能動的な性格を生かし、身近にある自然物や人工の材料などの形や色の特徴から思いついた造形活動を行うもの」となっている。また、「共通事項」にも含まれており、小学校全学年を通して計画的に取り組む学習内容とされている。これらのことから、感性を刺激する造形遊びは、児童が身の回りの対象や事象を体験的に感じ取り、表現や鑑賞の基礎的な力を身に付けるための欠かすことのできない活動である。そして、学習の中で感性を刺激するために、児童の関心のある素材を準備し、題材提示の仕方を工夫し、教師と児童または児童相互での見方、感じ方の交流をすることが大切である。

新聞紙は、身近な生活の中にある素材で、児童にとって、その軽さと大きさという点で、大変扱い易いというメリットがあり、ちぎったり、丸めたり、折ったり、ものを包んだり、比較的容易に加工することができる。このことは、新聞紙が、児童の「こんなことがしたい」という思いを、ストレスをあまり感じることなく、具現化できる素材であることを示している。

本題材「ジャブジャブ新聞紙」では、新聞紙をお風呂の水に見立てて、色々な形や大きさに切った新聞紙をお風呂に見立てた段ボール箱の中に入れ、新聞紙のお風呂に入ったり、新聞紙を放り投げたり、新聞紙で流れる様子を表現したりする活動である。このように、提示の仕方や展開を工夫することで、感性に刺激を与える造形遊びを行い、体全体で新聞紙の素材としての特徴を深く心を感じ取らせ、表現素材としての可能性に気付かせたい。

(2) 児童について

本学級の児童を対象に実施した意識調査では、図画工作科の活動（絵画、平面構成、工作、彫塑、鑑賞）に対して、各項目で約8割が「好き」と回答している。（好き、だいたい好き、ふつう、すこし嫌い、きらいの5段階で回答）このことから、図画工作科の活動に対して興味や関心が高いといえる。造形遊びに対する意識調査では、段ボールやビーズ、粘土を使いたいという児童が多かった。今回扱う新聞紙については、35名中6名の児童が使いたいと回答し、電車や剣を作りたいと考えている。このことから、新聞紙をちぎるなどして遊んだ経験は少ないと思われる。そのため、今回の活動は児童にとって新鮮な経験になり、造形遊びに対する意欲が喚起されられると思われる。

(3) 指導について

本時の指導においては、児童の感性を刺激することで、体全体の感覚を目覚めさせ、新聞紙の表現素材としての特徴や可能性を感じ取らせたい。そのために、以下のような活動を展開したい。まず、「新聞紙のお風呂に入ろう」（ジャブジャブ新聞紙）という活動を提案し、最初の刺激を与える。この活動では、新聞紙をお風呂の水に見立て、ちぎる、丸める、折るなどの行為を体験させることで、新聞紙の素材としての特徴に気付かせたい。実際の活動では、児童の体が入る大きさの段ボール箱を用意し、その中に、新聞紙を様々な形や大きさにして入れる。徐々にたまっていく様々な形や大きさの新聞紙を見て、感性が刺激され、次の活動に対する期待は高まると思われる。たまった後は、箱の中に入らせたり、新聞紙浴びをさせたりすることで、新聞紙は手を加えることで、形や大きさが変わり楽しく遊べる素材になることを体感させたい。

また、途中で、個々の児童の活動内容を全体に紹介する時間を設定する。この刺激を与えることで、造形遊びにおける活動内容の共有化を図り、活動を広げさせたいと考える。

本題材では、1つの箱に対しては、5名程度の少人数で活動させたい。友だち同士協力して、段ボール箱を様々な形や大きさの新聞紙でいっぱいにしていく中で、児童は友だちの活動から刺激を受け、活動が広がっていくと思われる。

さらに、大きなビニール袋を用意し、小人数グループで「袋に新聞紙を入れよう」という活動をさせる。この活動では、新聞紙が入って膨らんだビニール袋のふわふわした感触を味わわせたい。

以上のように、様々な場面で刺激を与える造形遊びを行うことで、児童に新聞紙の素材としての特徴を、体全体の感覚で感じ取らせ、表現や鑑賞の基礎的な力を養いたいと考える。

3 題材の目標

新聞紙を使った造形遊びに関心をもち、段ボール箱に入っている色々な形や大きさの新聞紙から思いついたことを取り入れ活動しようとする。
(造形への関心・意欲・態度)

新聞紙の特徴を生かし、新聞紙を様々な形や大きさにしたり、それらのもので楽しく遊んだりすることができる。
(発想や構想の能力)

4 準備

【教師】新聞紙（10日分程度） 段ボール箱（児童の体が入る程度の大きさ、7個）

ビニール袋（大きいもの、7袋） CDプレーヤー、音楽CD（1曲4～5分程度）、ビデオ

【児童】新聞紙3日分、体操服

5 本時の展開 (全1時間)

過程	学習活動 児童の声	教師の働きかけ 児童に与える刺激の言葉
<p>導入</p> <p>1 本日の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙で遊ぶ活動をする。 <p>2 新聞紙のお風呂に入る。</p> <p>(1)お風呂に新聞紙をためる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を様々な形や大きさにして、段ボール箱に入れる。 <p>(2)たまった新聞紙で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な形や大きさの新聞紙でいろいろなことをして遊ぶ。 <p>(3)友だちの活動を知る。</p> <p>(4)他の班の活動を参考に、活動を広げる。</p>	<p>・プールを思い浮かべます。 ・お風呂を思い浮かべます。</p>  <p>・細かくちぎろう。 ・細長くしよう。 ・ボールのようにまるくしよう。</p>  <p>・新聞紙の中に入るとふわふわして気持ちいいぞ。 ・体に新聞紙がかかるとさらさらするぞ。</p>  <p>・僕たちは、新聞紙を丸めてボールのようにし、箱の下の方に入れて、宝探しをしています。</p>  <p>・私たちは、新聞紙を細長くして、シャワー遊びをしています。</p>  <p>・僕たちも、宝探しをやってみよう。</p>	<p>「ジャブジャブ」という言葉を基にして、水の代わりに新聞紙で水遊びのように遊ぶことを知らせる。</p> <p>今日は「ジャブジャブ新聞紙」をします。「ジャブジャブ」という言葉からどんなことを思い浮かべますか。</p> <p>お風呂に入るために、新聞紙をいっぱいためましょう。いろいろな形や大きさにしましょう。</p> <p>児童の体が入る大きさの段ボール箱を5名程度の班ごとに用意し、箱の中に友だちと協力して新聞紙を様々な形にして入れさせる。箱に入ったり、新聞紙を浴びたりして遊ばせることにより、新聞紙は手を加えることで、様々な形や大きさに変わる素材であることに気付かせる。</p> <p>友達は、どんな活動をしているのかな。やってみたいことを見付けましょう。</p> <p>途中で、お互いの活動を紹介しあい、交流する時間を設定する。</p> <p>新聞紙のちぎり方、丸め方、折り方、包み方等の視点を設け、活動の特徴をつかませ、その後の活動の参考にさせる。</p>



・私たちが、シャワーをしてみよう。

細長い新聞紙をみんなで放り投げたら、花火が上がっているようできれいだぞ。

3 袋に新聞紙をためる。

- ・ビニール袋に新聞紙をたくさん入れる。



新聞紙をつめたら、クッションみたいで、ふわふわして気持ちいいな。

ま 4 今日の活動を振り返る。

- ・感想を発表する。

と

め



新聞紙で宝探しや花火ができてよかったです。また、したいです。

- ・新聞紙の素材の特徴を知る。



袋に新聞紙をいっぱい入れましょう。

班ごとに、大きいビニール袋を用意し、時間内で散らばった新聞紙を友だちと協力して集めさせ、新聞紙が入った袋をクッションのように扱わせることで、ふわふわした感触を味わわせる。

プリントを使って、活動の振り返りをさせる。

活動をしての感想を発表させる。

新聞紙の特徴をつかませる。

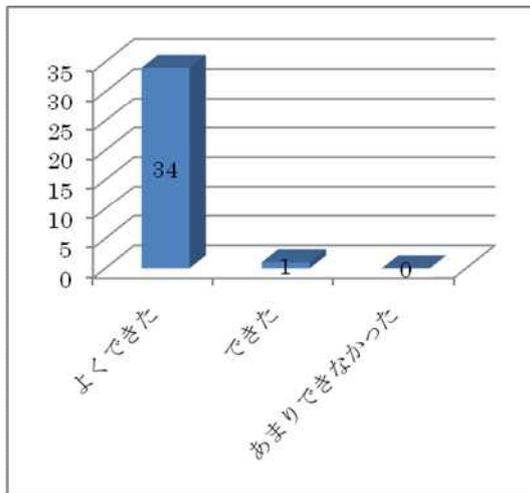
- ・いろいろなちぎり方、丸め方、折り方、包み方ができることを紹介する。

児童の活動を賞賛する。

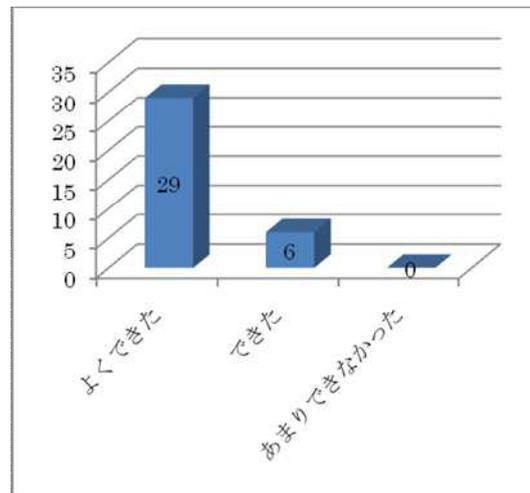
6 評価規準

学習活動における評価規準 (評価資料)	評価基準およびCの児童に対する支援()		
	A十分に満足	Bおおむね満足	C努力を要する
【造形への関心・意欲・態度】 新聞紙を使った造形遊びに関心をもち、思いついたことを取り入れ活動しようとしている。 (観察、ビデオの映像)	新聞紙を使った造形遊びに関心をもち、思いついたことを積極的に取り入れ、活動をしている。	新聞紙を使った造形遊びに関心をもち、思いついたことを取り入れ、活動している。	新聞紙を使う造形遊びに関心がもてず、活動が停滞している。 新聞紙がたまった箱に入らせたり、新聞紙を放り投げたりさせながら、活動を始めるきっかけを与える。
【発想や構想の能力】 新聞紙の特徴を生かし、新聞紙を様々な形や大きさにしたり、それらのもので楽しく遊んだりすることができる。 (活動の様子の観察、ビデオの映像)	新聞紙の特徴を生かし、新聞紙を様々な形や大きさにしたり、友だちの遊びを参考に遊んだりすることができる。	新聞紙の特徴を生かし、新聞紙を様々な形や大きさにしたり、それらのもので楽しく遊んだりすることができる。	新聞紙をどのように扱いが分からず、活動が停滞している。 ちぎる、丸める、折る、包むなどの加工法があることを紹介し、活動を支援する。

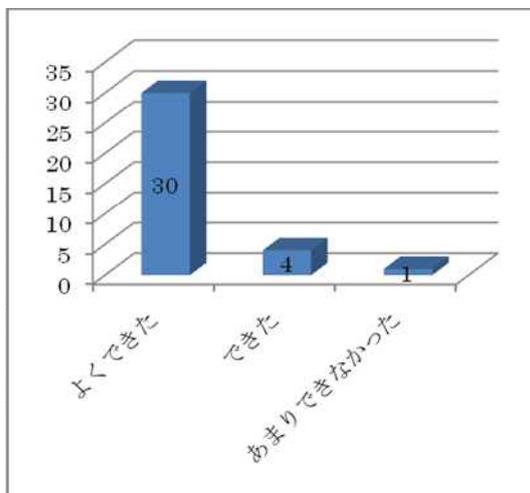
7 授業後の児童を対象にしたアンケートの結果 (対象児童 35 名)



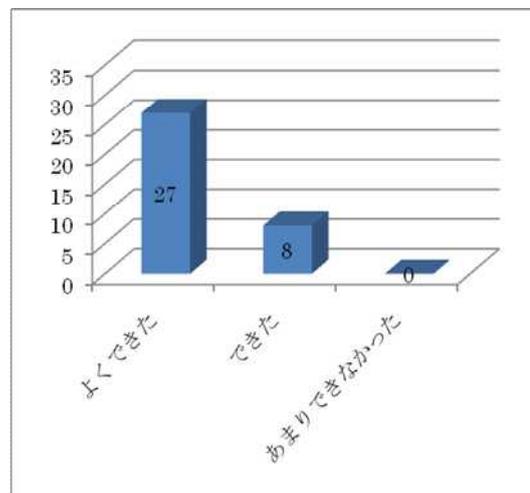
図工の時間は楽しく活動することができたか



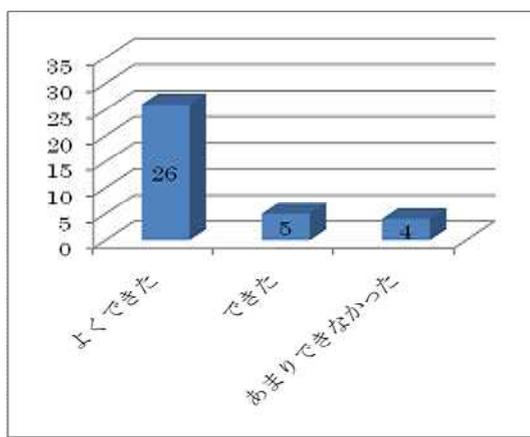
新聞紙を様々な形や大きさにすることができたか



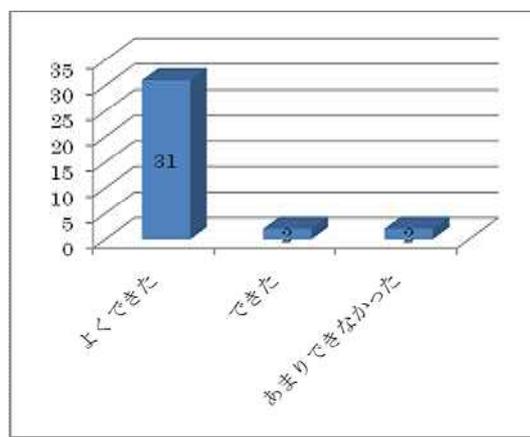
様々な遊びを思いつき積極的に活動することができた



新聞紙を集めた袋を触りふわふわした感じが味わえたか



友だちの活動のよさを見つけたり、模倣したりすることができたか



グループの友だちと協力して活動することができたか

紙吹雪をしたい(7)	いろいろなものを作りたい(1)
今回の授業と同じことをしたい(3)	いろいろなことに使いたい(1)
船をつくりたい(2)	動くものを作りたい(1)
鉄砲を作りたい(2)	弓矢を作りたい(1)
新聞紙のクッションで寝てみたい(2)	新聞紙を丸めてキャッチボールをしたい(1)
紙飛行機に使いたい(2)	新聞紙のかけあいっこをしたい(1)
ボールを作りたい(1)	くまやうさぎや人形をつくりたい(1)
新聞紙を飛ばして花火のようにしたい(1)	いろいろな遊びをしたい(1)
家を作りたい(1)	すべり台をするときに使いたい(1)
スキーをするのに使いたい(1)	人間を作りたい(1)

「新聞紙をこれからの図工でどのように使いたいか」という質問に対する回答

楽しかった(19)
宝探しが楽しかった(3)
また遊びたい(2)
いろいろなことができてうれしかった(2)
潜れたからすごかった(1)
あったかい気持ちになった(1)
最後に新聞紙を花火みたいにして、ばらばらになったところがおもしろかった。(1)
みんなとなかよくできた(1)
おもしろかった(1)
また新聞紙を飛ばして花火みたいにしたい(1)
新聞紙に埋まるとふわふわして気持ちよかった(1)
最初は何をやるかわからなかったけど、途中で何をやるかわかった。船をしたのが楽しかった。(1)
お風呂(段ボール箱)に入ったら本当に熱かった(1)
みんなと協力してすることができて楽しかった(1)

授業後の全般的な感想

8 授業の考察

本題材は、新聞紙を使って造形遊びを行うものであった。新聞紙を主素材として、児童が新聞紙を様々な形にしたり、それを使って思いついた遊びをしたりする中で、新聞紙の素材としての特徴や表現材料としての可能性をつかませる学習であった。

まず、用意した段ボール箱に新聞紙を多量にためる活動において、新聞紙に手を加え様々な形や大きさにする活動を行った。その結果、アンケートの にあるように、35名の対象児童の全員が、「新聞紙を様々な

形や大きさにすることができたか」という質問に対して、「よくできた」若しくは「できた」と回答している。このことから、「お風呂(段ボール箱)に水(新聞紙に手を加えたもの)をためよう」という提案が、新聞紙に自分なりに手を加え、様々な形を生み出す活動に効果的に作用したと考える。

また、お風呂(段ボール箱)にたまった新聞紙を使って、思いついた遊びをする活動においては、アンケートの にあるように、ほとんどの児童が、様々な活動を思いつき積極的に活動していることが分かる。このような結果になった要因としては、この活動の途中で、お互いのグループの活動を紹介するための交流の時間を設定したことが挙げられる。それは、アンケートの にあるように、「友だちの活動のよさを認識したり、模倣したりすることができた」と約9割の児童が回答していることから伺える。

アンケートの を見てみると、「新聞紙を今後どのように使いたいか」という質問に対し、船や鉄砲等をつくりたい、新聞紙のクッションで寝てみたい等の回答をしており、新聞紙を表現の材料として考えたり、造形遊びの素材として認識したりしている。このことは、本題材の学習を通して、児童が新聞紙の造形的な素材としての可能性を見付け、今後の造形活動に生かしていこうとする意識を高めたことを表していると考ええる。

8 引用文献・参考文献

- ・「小学校学習指導要領解説図画工作編(平成20年8月)」(文部科学省)
- ・「子どもの創造力が育つ造形遊びの展開」宮脇理 監修(建帛社)
- ・「図画工作科 みかたがかわる授業づくり」筑波大学附属小学校 西村德行(東洋館出版社)
- ・「造形・美術の教育評価」辻田嘉邦 著(日本文教出版)

9 参考資料

- ・授業使用したふり返り用の学習プリント



「ジャブジャブ新聞紙」学習カード 

春日北小学校 3年1組 () 番 名前 ()

1. 今日の学習をふり返ってみましょう。

ふり返ること (◎よくできた ○できた △あまりできなかった)	◎ ○ △
今日の図工は、楽しく活動することができましたか。	○
新聞紙をためるときは、新聞紙をいろいろな大きさや形にすることができましたか。	○
箱にたまった新聞紙を使って、いろいろな遊びをすることができましたか。	○
新聞紙を集めた袋をさわったり、その上にねころんだりして、ふわふわした感じを感じることができましたか。	○
友だちのしていることを見て、よさを見つけたり、まねしたりすることができましたか。	○
グループの人と協力して活動することができましたか。	○

2. 新聞紙は、これからの図工でどんなことに使いたいですか。

3. 今日の図工の感想を書きましょう。

